

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 4 年 5 月 3 日 報告者：森部 龍一

行事種別	研究会	行事番号	220000116
開催日	令和 4 年 4 月 2 日 (土) ～ 令和 4 年 4 月 15 日 (金)		
時間	開始	—	終了 —
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	改めて学ぶ糖尿病		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	無し		
講師	<p>講演 1.改めて学ぶ糖尿病 Vol.1～基礎の基を知る～ 藤田医科大学岡崎医療センター 田中亚希</p> <p>講演 2.改めて学ぶ糖尿病 Vol.2～病態を理解できていますか?～ JA 愛知厚生連渥美病院 蜂須賀靖宏</p> <p>講演 3.糖尿病の診断と検査 積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 学術企画グループ 高田真由美</p>		
内容	<p>この研究会では「改めて学ぶ糖尿病」をテーマに、基礎から応用まで幅広い内容で講演していただいた。講演 1 では、①体内における糖のながれ、②糖尿病とはどんな病態か、③糖尿病の細かい分類、の 3 つのセクションに分かれ、それぞれ詳しく解説していただいた。</p> <p>講演 2 では、①糖尿病を診断する、②糖尿病の検査を知る、③症例から考える、の 3 つのセクションに分かれ、糖尿病の診断基準や検査の違い、様々な検査の意義を知り病態を評価すること、検査データから病態を読むことや主治医の解釈・判断など、症例を交えて解説していただいた。</p> <p>講演 3 では前半に糖尿病の病態から、各検査の意義、検査法の特徴、持続血糖モニターなどについて解説していただいた。また、後半では、糖尿病性腎症について、腎障害リスクの早期判別や AKI の発症・重症化リスクの早期判別に有用な L-FABP について解説していただいた。</p>		
参加者	総数：271 名 (会員 189 名、県外会員 82 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、レポート提出者 193 名)		
共催、後援など	無し		

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 4 年 7 月 29 日 報告者：森部 龍一

行事種別	研究会	行事番号	220003007	
開催日	令和 4 年 7 月 2 日 (土) ~ 令和 4 年 7 月 15 日 (金)			
時間	開始	—	終了	—
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)			
テーマ	生体内微量元素			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	無し			
講師	<p>講演 1 .思い出そう！身体の中の微量元素 名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター 伊藤綾香</p> <p>講演 2.体内鉄動態について JA 愛知厚生連海南病院 伊藤直之</p> <p>講演 3.亜鉛の有用性 株式会社シノテスト 企画部 加藤大介</p>			
内容	<p>この研究会では「生体内微量元素」をテーマに、総論から各論まで幅広い内容で講演していただいた。講演 1 では、元素とは、から始まり、必須微量元素の各項目において、欠乏症・過剰症やそれに伴う中毒症状、さらにはその元素が多く含まれている食品について講演していただいた。</p> <p>講演 2 では、鉄、トランスフェリン、TIBC、UIBC、フェリチンについて、体内での鉄動態や症例を交えて講演していただいた。</p> <p>講演 3 では、亜鉛の有用性について、味覚障害や創傷治癒・褥瘡、肝性脳症、腎性貧血、細菌感染症、COVID-19、フレイル・サルコペニアと亜鉛欠乏の関係性について講演していただいた。</p>			
参加者	総数：330 名 (会員 214 名、県外会員 115 名、非会員 0 名、賛助会員 1 名、学生 0 名、その他 0 名、レポート提出者 208 名)			
共催、後援など	無し			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 5 年 1 月 2 日 報告者：森部 龍一

行事種別	講演会	行事番号	220011680
開催日	令和 4 年 12 月 3 日(土) ～ 令和 4 年 12 月 16 日(金)		
時間	開始	-	終了 -
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	検査と自動化		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	無し		
講師	<p>講演 1. 生化学・免疫検査における自動化の変遷～江南厚生病院の場合～ JA 愛知厚生連 江南厚生病院 伊藤智恵</p> <p>講演 2. 自動化システムの変遷 ～時代は変わった！～ JA 愛知厚生連 渥美病院 蜂須賀靖宏</p> <p>講演 3. 新しい時代に求められる臨床検査室の自動化について ～新たな時間・リソースの創出のために～ シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 オートメーションシステム&ソリューショングループ 伊藤俊幸</p>		
内容	<p>この講演会では「検査と自動化」をテーマに、主に検体の搬送についてお話ししていただいた。</p> <p>講演 1 では、実際の病院での機器の変遷に伴う、実際の運用や T A T など、検体を効率よく処理していくために工夫していることをわかりやすくお話ししていただいた。</p> <p>講演 2 では、時代の移り変わりに伴ってどのように自動化が進んでいったのか、また、中規模から大規模施設の自動化について提示していただいた。</p> <p>講演 3 では、自動化による人員の確保、新たな業務の拡大や時間の創出について触れ、実際の自動化事例についてお話ししていただいた。</p>		
参加者	総数：138 名（会員 90 名、県外会員 47 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 自宅会員 1 名、）・申込総数：215 名		
共催、後援など	生物試料分析科学会 東海北陸支部		

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 5 年 3 月 3 日 報告者：森部 龍一

行事種別	研究会	行事番号	220017406
開催日	令和 5 年 2 月 4 日(土) ~ 令和 5 年 2 月 17 日(金)		
時間	開始	-	終了 -
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	令和 4 年度愛臨技精度管理調査報告		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点		
司会	無し		
講師	<p>講演 1.臨床化学検査部門 刈谷豊田総合病院 神谷 美聡 藤田医科大学病院 岡崎医療センター 田中 亜希</p> <p>講演 2.免疫血清検査部門 豊橋市民病院 森下 拓磨</p> <p>講演 3.水が要らないだけじゃない ～ドライケミストリの構造・特徴・活用法～ オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 クリニカルラボラトリー事業本部 マーケティング部 学術運用サポート 志田 怜那</p>		
内容	<p>この研究会では、令和 4 年度の愛臨技精度管理調査について、臨床化学検査部門と免疫血清検査部門から本年度の傾向についてお話ししていただいた。臨床化学検査部門では、全項目について、CV (%) など例年に比べて同水準であり、来年度よりドライケミストリー法の評価方法を変更する旨の報告があった。免疫血清検査部門では、13 項目を対象に調査を行い、例年と同水準の結果であった。ただ、入力間違いが例年散見されるため、随時 JAMTQC の変更をお願いする旨の報告があった。</p> <p>また、オーソよりドライケミストリー法の原理から、ウエット法との相関、および利点や災害対策についてお話ししていただいた。</p>		
参加者	総数：114 名 (会員 72 名、県外会員 41 名、非会員 1 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 自宅会員 0 名、) ・申込総数：162 名		
共催、後援など	無し		